

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	総務部 危機管理課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上	成果	コスト		
事務事業名	フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充			連絡先	052-654-7813
対象(誰・何を)	港湾物流企業及び港湾立地企業			連携課	港営課
目的 意図(どうい う状態にしたいか)	台風等の接近に際し、関係者が迅速かつ円滑な防災行動を効果的・効率的に行うことにより、被害の軽減を図る。			事業期間	平成30年度～
概要	台風襲来時の防災行動を迅速かつ円滑に実施するため、フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充(コンテナ、完成自動車、木材)に取り組みます。			根拠法令等	
令和元年度の実施予定	コンテナ及び完成自動車に係るフェーズ別高潮・暴風対応計画を取りまとめます。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	コンテナ及び完成自動車に係るフェーズ別高潮・暴風対応計画を取りまとめました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		0	0	0	
人件費	千円		-	7,339	7,339	
合計	千円		0	7,339	7,339	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	2	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
フェーズ別高潮・暴風対応計画拡充までの進捗状況 (進行管理型)	目標			1		2	フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充(工程) ①コンテナ・完成自動車に係る対応計画の取りまとめ ②木材に係る対応計画の取りまとめ	
	実績		-	1				
	事業進捗状況(元年度)	○(順調) やや遅れ・遅れ						
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	コンテナ及び完成自動車に係るフェーズ別高潮・暴風対応計画を取りまとめました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	台風襲来時の防災行動を迅速かつ円滑に実施するため、フェーズ別高潮・暴風対応計画を拡充することは、本組合として必要性の高い事業です。						
有効性 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっていないか?	○							
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	フェーズ別高潮・暴風対応計画を拡充することにより、台風襲来時の防災行動を迅速かつ円滑に実施することができ、被害の軽減が図られます。						
有効性 期待どおりの成果が得られているか?	○							
効率性 最小のコストとなっているか?	○	適切な人員で対応し、最小のコストで成果を上げました。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	木材に係る対応計画を取りまとめる必要があるため。
取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題			2年度以降の取組
台風襲来時の防災行動を迅速かつ円滑に実施するため、フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充(木材)に取り組む必要があります。			引き続き、台風襲来時の防災行動を迅速かつ円滑に実施するため、フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充(木材)に取り組みます。